

施設紹介

「医療・保健・福祉で人と地域を支える」

—生涯安心して暮らせる地域造りに貢献します—

社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院

臨床検査部 検体検査科 山野健太郎



医療・保健・福祉で人と地域を支える

—生涯安心して暮らせる地域造りに貢献します—

2023年12月

新病院

開院

社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院は、1981年に沖縄浦添病院として事業をスタートしそれから急性期医療、救急医療を中心に機能を強化し、公益性医療を担う社会医療法人の認定を受けて現在に至ります。

地域医療支援病院や災害拠点病院、へき地医療拠点病院、救命救急センターの認定を受けドクターヘリやドクターカーを運行、現在は病床数：334床（救命：19床/ICU：12床/HCU：16床/一般：287床）を持つ病院として地域医療に貢献してきました。また、予防医療や介護にかかわる事業として検診センターや介護老人保健施設を有し、病院職員と含め法人職員は1400人を超えるスタッフで地域医療のニーズに応えられるよう努めております。

2023年12月に浦添市前田に新病院移転を経て、さらに地域の皆様に信頼され、選ばれる病院を目指します。

基本理念

・地域住民のニーズを満たす医療

『保健、医療、福祉の立場から社会的使命を果たす』

・信頼と人間性豊かな保険、医療、福祉

『肉体的、精神的に苦悩する利用者や家族の求めに応じられるサービスを提供し、安心を与える』

・働き甲斐のある職場

『生活の安定と仕事を通して自己成長を遂げる』

・仁愛会の職員であることが誇れる企業

『仁愛会が沖縄にあってよかったと県民に思われ、仁愛会で働いて嬉しいと職員が実感できる企業を目指す』

南の島々から
命の地域格差をなくしたい



臨床検査部

臨床検査技師 39 名、視能訓練士2名、採血室看護師、補助業務を担うメディカルテクニシャンで構成しており、検体検査科、生理検査科、病理検査科の3科でそれぞれの専門性を磨いています。

認定資格については、血液認定技師、感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)、緊急検査士、超音波検査士(消化器・循環器・体表・血管・検診)、血管診療技師(CVT)、精中機構乳房超音波技術、心電図専門士、心電図検定(1級・2級)、心臓リハビリテーション指導士、細胞検査士、認定病理検査士を有するスタッフを配しており、それぞれの専門性を発揮し活躍しています。沖縄県臨床検査技師会では手登根会長を中心に各学術部門長、分野長、また精度管理委員及び解析員を歴任してきたスタッフが多く在籍しており、若手の学術活動を力強くサポートできる環境があります。検体検査科は形態学 morphology 部門として血液・一般・細菌部門を、分析・解析 Analysis 部門として生化学・免疫・輸血をそれぞれローテーションし、複数部門を担い多角的な視野で病態や疾患を解釈できる人材育成に取り組んでおります。

新病院移転に伴い、臨床検査部にも新しい機能が追加されました。生化学検体を外注検体や感染症などの免疫検体へ小分けする分注機及び搬送ラインの導入、また採血室での採血支援システムはモニタからの患者呼び出し機能だけでなく、採取部位や使用針のデータベース構築から患者ごとの採血難易度、採血者のスキルなどの指標化に活用されます。これらはこれからの臨床検査技師がタスクシェア、タスクシフトのもとにERや病棟、各診療科でそれぞれのストロングポイントを生かしてチーム医療に貢献していくために大いに活用していきたいと考えます。

我々を取り巻く医療情勢は日々、刻一刻と変化し続けます。臨床や患者様のニーズに的確に、かつ迅速に応えていける人材の育成に取り組んでまいります。

